

「建交労とうきょう」はい  
つでもみなさまからの記事  
や写真を待っています。

（メール） tohonbukenkouro@sm  
ile.odn.ne.jp  
ホームページ  
http://www.kenkouro.com/

建交労

# おとうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館7階  
電話 03 (3820)8644(代)  
fax 03 (3820)8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円組合費に含まれる（〒60円）

## 5月1日 第96回中央メーデー 三多摩メーデー開催

2025年5月1日、代々木公園B地区にて第96回中央メーデーが14000名の参加で開かれました。建交労からの参加は63名でした。9時30分文化行事がスタート、メーデー歌のコーラス、朝鮮の民族歌謡やおどりが披露されました。10時〜式典が始まり、議長に矢吹義則東京地評議長と信川幸之助全農協労連委員長が選出されました。主催者を代表して秋山正臣全労連議長があいさつ。

「25春闘では5割がストライキを構え昨年を上回る回答を引き出している。運動で大幅賃上げの世論を作ってきた。しかし、物価の高騰が暮らしに大きな影響を与えており、農政の転換が必要だ。大軍拡は許してはならない。」と訴えました。日比谷メーデー実行委員会代表幹事の関口広行さんから、連帯のあいさつが続きました。激励のあいさつとして日本共産党委員長の田村智子さんは「昨年の2・5倍のストライキを構えて昨年を上回る回答を引き出しているが、物価に追いついていない。自公政権の無為無策によるものだ。ここそ政治を変えるたたかいを。」と呼びかけました。続いて伊藤和子弁護士は「ジャニーズ・フジテレビ問題など人権への取り組みが不誠実であり、国際基準による立法が必要だ。今でもガザでは被害が

続いている。戦争は最大の人権侵害だ。平和憲法をもつ国としてがんばろう。」と訴えました。メッセージの紹介、都教組、アルファベット・ユニオン、東京土建から決意表明があり、その後メーデー宣言が提案されました。2025年は戦後・被ばく80年、男女雇用機会均等法制定40年、阪神・淡路大震災から30年と、平和、人権、いのちと暮らしを見つめ直す大きな節目にあるとして、8兆円もの軍事費、日米の軍事一体化、男女の賃金格差を指摘し、政府の進める労働時間の適用除外を批判しました。「27年ぶりの高賃上げは、デフレ脱却には個

人消費増と賃上げが必要、内部留保を賃上げに回せと発信して世論を作ってきたからだ。25春闘を最後までたたかおう。」と呼びかけました。満場の拍手で採択された後3コースに分かれてデモ行進し、第96回メーデーは大きく成功しました。

【執行委員長 松田 隆浩】井の頭公園西園競技場で行われた三多摩メーデーには三多摩地域から、1500名が集いました。開催前には、二本松はじめと全レク一座や、三多摩のうたごえによるパフォーマンスが会場を盛り上げました。主催者挨拶をした菅原一茂実行委員長は「物価高騰の中、賃金が上がっていない。私たちの団結で政治を変えよう！」と訴えました。来賓に日本共産党やれいわ新選組、社民党などが駆け付け、それぞれ連帯の挨拶をされました。現場から、都教組、東京土建、建生会、横田基地の撤去をもとめる西多摩の会などから訴えがあり、三多摩メーデー宣言を会場全体で確認しました。集会後、シユプレヒコール挙げながらJR吉祥寺駅までパレードしました。建交労は三多摩地協からバス関連支部（京王新労組）、八王子地域労組、八王子学童、三鷹分会、武蔵野分会など27名が参加しました。メーデー実行委員として準備にあられたバス関連支部（京王新労組）の皆さん、参加された仲間の皆さん大変お疲れ様でした。

【執行委員 笹原 和樹】



代々木公園B地区に14000人が集いました



建交労の仲間63名が参加しました(中央メーデー)



井の頭公園西園競技場に1500人の仲間が集まりました



建交労の仲間27名が参加しました(三多摩メーデー)

### 未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！2025憲法大集会

2025年5月3日 (土・祝)、「未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！2025憲法大集会」が有明防災公園で開催され3万8千人が集まりました。実行委員代表として菱山南帆子さんがあいさつ。「分断と対立を乗り越えて共同で憲法集会所が開かれて10年が経ち、幾度も訪れた改憲の危機をはね返してこれたのは、憲法集会所を中心とした粘り強い市民運動があったからだ、ミサイルでなく憲法で平

和をつくり出そう、署名と対話活動、参院選に向けた運動で改憲勢力を追い詰めよう」と呼びかけました。日本被団協の田中照巳代表委員は、「ノーベル平和賞を日本被団協に授与しました。ノーベル委員会は核兵器は使ってはならないという批判を世界につくりあげたことと、若い人と協力して核兵器は非人道的な兵器だということを経験した。戦争も核兵器もない世界、人間社会をつくりあげましょう。」と力強く訴えました。立憲民主党、日本共産党、いわ新鮮組、社民党、参院会派



建交労から15名が参加しました

「沖縄の風」代表が挨拶。佐藤学東京大学名誉教授が最後に連帯のあいさつをしました。終了後、2つのデモコースに分かれ「LOVE憲法世界に憲法を！」等のプラカードを掲げてアピールしました。  
【常任執行委員 江部 明子】

### 4・28労働安全衛生世界デー 厚労省前宣伝・要請行動

建設産業の労働安全衛生行政の強化等を目指し、生公連(生活関連公共事業推進連絡会議)と建設首都圏共闘会議、いの健全国センターは、共同で4月28日(月)労働安全衛生世界デーに合わせ、厚労省前で宣伝と要請行動を実施しました。要請項目のひとつ「建設業における時間外労働上限規制の適用除外にあたる『災害その他避けることのできない理由』は、災害時における復旧および復興事業など緊急の際に限定し、その他の理由は上限規制をすべて適用す

ること」に対して、厚労省の担当は「災害その他避けることのできない事由は『見しえない災害等』となっており原則的には許可制になっているが、あらかじめ監督署の許可が取れない場合は事後報告も可能となっている。」と回答。生公連の笹田事務局長は「災害が発生した初期は仕方ないが災害発生から一定期間が経過した後でも恒常的な時間外労働が発生している。『災害』という名目で、復興が終わっているにも関わらず設計や見積りが残業ありきで発注されている。」と美態の紹介と改善を求めました。厚労省は「基準が明



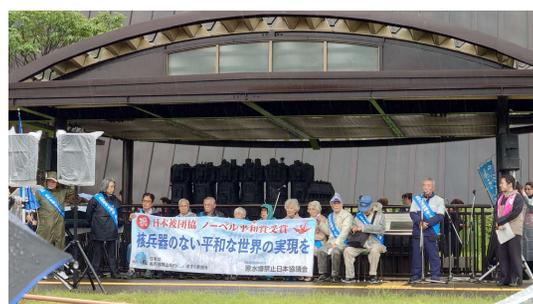
厚労省前に建交労や国土交通省、建設首都圏共闘会議の健全国センターの仲間が集いました

確にあるわけではなく個別的に判断するが、届け先の監督署においても逐一報告することになっている。」と回答しています。  
【全国建設・関連部会 事務局長 笹田 和樹】

### 核兵器のない平和な世界の実現を 被爆80年平和大行進

雨が降る江東区夢の島公園・第五福竜丸展示会館前には、出発式に参加しようと多くの団体や市民が集い、色とりどりの傘が会場を華やかに演出していました。被爆80年、核兵器のない世界と非核平和の日本の実現を目指して、今年も原水爆禁止国民平和大行進が開催されました。1958年6月「核武装阻止・民主主義擁護」のために、数名の若者、宗教者、被爆者が、広島市の平和公園から原水爆禁止世界大会が開催される東京にむけて雨の日も風の日も夏の暑さの中1000キロの道のりを歩

き通したのが始まりです。5月6日(水)初日の出発式には、建交労から建築設計支部いしずえ分会や東部支部の仲間、建設・関連部会、中央本部などの仲間が結集し、日比谷公会堂前まで行進しました。開会あいさつをした原水爆禁止世界大会実行委員会運営委員会共同代表の高草木博さんは「非核平和の日本の実現こそが真の安全と平和。世界大会の成功へつなげよう。選挙で政治を変えよう」と呼びかけました。第五福竜丸平和協会の安田和也専務理事や日本被団協(日本被爆者団体協議会)の家島昌志代表理事が挨拶され、家島さんは「唯一の被爆国で



東京の出発式は江東区夢の島・第五福竜丸展示場前でおこなわれました

ある日本が核兵器禁止条約に批准しないのは厳しく批判されるべきこと」とうたったえました。7日(木)も建交労の仲間が神奈川まで行進しました。行進は広島を目指し8月まで続きます。

### ～6月13日(金)告示、22日(日)投票 東京都議会議員選挙～

6月22日投票で東京都議会議員選挙が行われます。コメをはじめとする食料品、ガソリン、電力、ガスなどの価格の高騰が暮らしのしかかっています。各党とも消費税の減税、ガソリン暫定税率の廃止、何らかの補助金を言い出していますが、物価高から暮らしをどう守るかが焦点となっています。消費税は廃止を目指し緊急に5%へ減税すること、物価高に負けない賃上げを勝ち取ること、医療と介護の危機を食い止め

ることが必要です。財源については年間1兆円に及ぶ大企業法人税の減税や、所得が1億円を超える税負担が下がる富裕層への税優遇を見直すことです。小池都政は、神宮外苑の巨大再開発やお台場の世界一の噴水建設などを強行しようとしています。野党は、学校給食無償化やシルバーパスの値下げ、補聴器購入費の助成など実現してきました。東京都の豊かな財政を使えば、暮らしを守る政治は実現できます。各党とも相当数の候補者を擁立する見込みで、多数の激戦が予想されています。

### 組合掲示板

- 6月 5日(木) 18時半～世界環境デー宣伝行動/赤羽駅西口
- 6月 6日(金)～8日(日) 建交労フェスタin広島
- 6月10日(火) 16時～東京労働局交渉/東京労働局11階(九段下駅)
- 6月14日(土) 14時～建交労東京学校/神田支部会議室(水道橋駅)

裏金に無反省の自民党は企業献金にしがみつき悪政を続けようとしています。各党の政策を見極めて、暮らしを守ってくれる政党・候補者を選ぼうではありませんか。  
【執行委員長 松田 隆浩】